DVD±R/RW/RAM

セットアップガイド

DVR-UM16CV

この度は、「DVR-UM16CV」（以下、本製品と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に［本書］をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願い致します。

B-MANU200787-01

I-O DATA

本製品は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく製品です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

動作環境の確認

対応機種※1	USB 2.0※2（USB 1.1※3）ポートを搭載したDOS/Vパソコン（弊社製USBインターフェイスを搭載したパソコンを含む）
対応OS※4	Windows Vista™（32bitのみ対応）/ Windows XP Service Pack 2 / Windows 2000 Professional Service Pack 4以降
搭載CPU※4	●データ保存時：Pentium III 450MHz以上　●ビデオ編集・DVD書き時：Pentium 4 1.6GHz以上
メモリ	512Mバイト以上
ハードディスク※4	空き容量 10Gバイト以上（20Gバイト以上推奨）
ディスプレイ	1024×768ドット以上の解像度
インターネット※5	CPRM技術で録画されたDVDメディアをWinDVDを使って再生、またはDVD MovieWriterを使って編集する場合には、インターネット接続環境が必要です。
対応メディア※6	●DVD：DVD-R※7、※8、DVD+R、DVD-R※9、DVD-RW、DVD-RAM※10、DVD-ROM ●C D：CD-R、CD-RW、CD-ROM

	メディア	メディアの速度	メーカー名
推奨メディア※11	1層DVD+R	16倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	8倍速	太陽誘電、TDK、三菱化学、リコー	
	2層DVD+R	8倍速（4倍速書き込み※14）	三菱化学
	DVD+RW	2.4倍速（4倍速書き込み※14）	日立マクセル、三菱化学
	8倍速	日立マクセル、リコー	
	4倍速	TDK、日立マクセル、三菱化学、リコー	
	1層DVD-R※12	16倍速	太陽誘電、日立マクセル、三菱化学
	8倍速	ソニー、太陽誘電、日立マクセル、三菱化学	
	2層DVD-R	8倍速（4倍速書き込み※14）	三菱化学
	4倍速	三菱化学	
	DVD-RW※12	6倍速	ビクター、日立マクセル、三菱化学
	4倍速	TDK、ビクター、三菱化学	
	DVD-RAM※13	5倍速	Panasonic、日立マクセル
	3倍速	Panasonic、日立マクセル	
	CD-R	太陽誘電、三菱化学	
	CD-RW	三菱化学	

ご注意
- ●DVD+R/RW/-R/-RWメディアで作成したDVD-ROM・DVDビデオは、既存のDVD-ROMドライブ、DVDプレーヤー、対応のゲーム機で再生可能ですが、一部再生できない機種があります。
- ●上記の条件を満たした場合でも、環境やメディアの品質によっては、ドライブの最大性能を発揮できない場合があります。
- ●Windows Vista™でご利用の際には上記推奨メディアをご使用ください。

製品仕様

ドライブ名	SW-9576（OEM供給元：パナソニックコミュニケーションズ株式会社）
インターフェイス仕様	USB 2.0（USB 1.1）
設置条件	設置方向：水平、垂直（垂直はは2cmメディアのみ対応）
ディスクローディング方式	トレイタイプオートローディング
データバッファサイズ	2Mバイト
書き込みエラー回避機能	搭載

		1層+R	2層+R	+RW	1層−R	2層−R	−RW	RAM	ROM
最大書き込み/読み込み速度	DVD	まわりCAV	×16	×4	×8	×16	×4	×6	×5	−
		ヤカラCAV	×16	×8	×8	×16	×8	×8	×5	※×16	※×8
	C D	−R	−RW	ROM						
		まわりCAV	×40	×24	−					
		ヤカラCAV	×40	×24	×40					
適合フォーマット	●DVD：DVD-ROM, DVD-Video ●C D：CD-ROM Mode1,CD-ROM Mode2 (form1, form2)、CD-DA, CD-Extra, CD-I, Video CD, CD-TEXT, PhotoCD									

平均アクセスタイム	●DVD-ROM：170ms　●DVD-RAM：240ms ●CD-ROM　：200ms
書き込み方法	●DVD+R　：Sequential write, Multi-Session ●DVD+RW：Random Write ●DVD-R　：Disc at Once, Incremental ●DVD-RW　：Disc at Once, Incremental, Restricted Overwrite ●DVD-RAM：Random Write ●CD-R/RW：Disc at Once, Session at Once, Track at Once, Packet Writing
電源仕様	AC 100V±10%　50/60Hz
定格電流	5V：1.5A、12V：1.0A
動作温度	+5～+35℃（パソコンの動作する温度範囲であること）
動作湿度	20%～80%（結露しないこと）
外形寸法	170(W)×270(D)×50(H)mm（突起部分を除く）
質量	約1.8kg（ACアダプター を除く）

※1 より詳しい対応機種情報を対応製品検索エンジン（PIO）にてご案内しております。
http://www.iodata.jp/pio/

※2 ●USB 2.0 環境は、パソコン本体に標準で搭載されている、USB 2.0 機種など、ご使用のOS（対応したドライバがインストールされている必要があります。（Microsoft 社製 USB 2.0 ドライバ搭載）推奨 USB 2.0 インターフェイスをご利用の場合は弊社製 USB 2.0 インターフェイスボードでのみ確認をおこなっております。
●増設された USB 2.0 インターフェイスに接続した場合、接続によっては本製品の最大性能を発揮できない場合があります。

※3 ●USB 1.1 ポートに接続した場合には、USB 1.1 機能として動作します。
●USB 1.1 環境で書き込みまたは読み込みをおこなう場合、DVD では最大 0.9 倍速、CD では最大 8 倍速となります。
●USB 1.1 環境で DVD ビデオを再生する場合、十分な転送速度が得られないためコマ落ちまたは音切れが発生します。（解像度はビデオオプションによって異なります。）

※4 DVDメディアへ12倍速以上で書き込みをおこなう場合の推奨環境は以下の通りです。
●搭載 CPU：Pentium 4 2.6GHz 以上
●ハードディスク：Ultra ATA/100 以上で接続されたハードディスク（DMA 転送モード）
●チップセット：i915 以降
●OS：Windows XP Service Pack 2 以降

※5 Windows Vista™環境でCPRM技術で録画されたDVDメディアを再生する場合は、以下を満たしている必要があります。
●グラフィックアクセラレーターボード
・PCI-Express 接続
・CGMP をサポートしていること
・最初のドライバがインストールされていること
・HDCP に対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載していること
●モニターが
・HDCP に対応した DVI もしくは HDMI コネクターを搭載していること

※6 ●最大24x2.12cm メディアへの対応になります。
●DVD - CD への書き込み/書き込み専用には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。

※7 2層DVD+Rメディアにマルチセッションにて書き込みを行った場合、他のドライブでは最初のセッションのみ読み込むことができます。

※8 2層DVD+Rメディアに「Bテ CLIP」にて書き込みを行った場合、他のドライブでは読み込むことはできません。

※9 2層DVD-Rメディアへの書き込みは、ディスクアットワンスのみ対応しております。

※10 2.6G バイト/面のメディアには対応しております。

※11 ●推奨メディアは当社を使用した場合は、メディアの品質により正常に書き込みできないことがあります。
●最新の情報は、弊社ホームページにてご確認ください。

※12「日's Recorder GOLD 9 BASIC」にてCLV一時止機能付きDVDを作成する場合には、推奨メディア欄にてご案内しておりますメーカー製の「DVD-RW(1-2)」「DVD+RW」メディアをご利用ください。

※13 2 倍速以下のメディアは読み込みのみ対応しております。

※14 弊社では記載の推奨メディアにてメディアの作成者による高速の書き込みを保証しております。その他種類のメディアの場合書き込み速度は4倍速までとなります。また、メディアメーカーカーへの新型のメディアの発売後も高速の書き込みに関するお問い合わせはご遠慮ください。

※15 2 倍速書き込み専用メディアにてメディアの作成者による高速の書き込みを保証しております。その他種類のメディアの場合書き込み速度は4倍速までとなります。

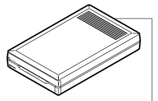
※16 弊社では記載の推奨メディアにてメディアの作成者による高速の書き込みを保証しております。その他種類のメディアの場合書き込み速度は4倍速までとなります。

1.準備しよう

内容物を確認します

□ にチェックをつけながら、ご確認ください。万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターにご連絡ください。

□ ドライブ（1台）



□ ACアダプター（1個）



□ 縦置きスタンド（1個）



□ USBケーブル（1本）



☑ DVR±R/RW/RAMセットアップガイド（本書/1枚）
□ DVD Proツールズコレクション（CD-ROM/1枚）
□ UleadソフトウェアCD（CD-ROM/1枚）
□ Ulead DVD MovieWriter CPRM対応キーダウンロードのご案内（1枚）
□ ゴム足（8個）［縦置用：4個/横置用：4個］
□ ハードウェア保証書（1枚）

シリアル番号（S/N）をメモします

シリアル番号（S/N）は本製品背面に貼られているシールに印字してある12桁の英数字です。（例：A0A00000000XX）
シリアル番号（S/N）は最新ファームウェアのダウンロードなどの際に必要な場合があります。

▼ シールサンプル



↓ここにシリアル番号（S/N）をメモしてください。

最新ファームウェア等のダウンロード：http://www.iodata.jp/lib/
ユーザー登録：http://www.iodata.jp/regist/

ハードウェア保証書について

「ハードウェア保証書」と「保証規定」は本製品の裏に印刷されております。
本製品の修理をご依頼いただく場合に必要となりますので、大切に保管してください。



ご注意

各部の名称

ドライブ前面





アクセス/Powerランプ
電源ON時：緑色に点灯します。
読み込み時：緑色に点滅します。
書き込み時：オレンジ色に点滅します。

イジェクトボタン
押すとトレイが開きます。

緊急イジェクトホール
メディアが取り出せなくなった場合に使用します。

ドライブ背面



電源コネクター
添付のACアダプターを接続します。

電源スイッチ
ON ⇔ AUTO ⇔ OFF
電源をONにするか、AUTO（電源連動機能）にするかを切り替えます。
※［AUTO］（電源連動機能）にするには右記「電源連動機能とは？」をご覧ください。

USBコネクター
添付のUSBケーブルを接続します。

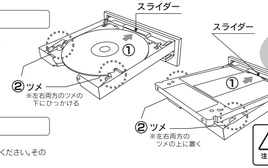
注意
- ●アクセスランプの点滅中は、パソコンをリセットしたり、電源を切ったりしないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。
- ●イジェクトボタンを押した際は、すぐ指を離してください。パネルやトレイに指を挟む危険があります。

メディアの出し入れ方法

メディアを入れる

① メディアのラベル面（イラスト面）を上にして、メディアでスライダーを軽く押します。

② 通常のメディア：左右両方のツメの下にメディアをひっかけるようにセットします。
カートリッジタイプのメディア：左右両方のツメの上に置きます。



注意 縦置き時、8cmメディアは使用できません。

メディアを取り出す

メディアでスライダーを軽く押し、ツメにひっかからないように取り出してください。その際、メディアのラベル面の裏側（記録面）に触れないようにしてください。

2.接続しよう

本製品をパソコンに接続します

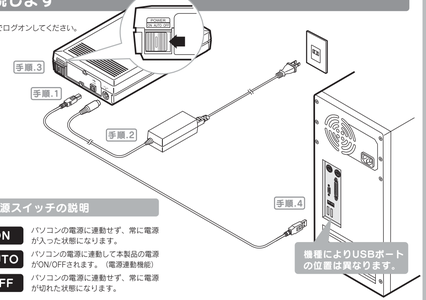
※セットアップを行う場合には、Windowsを管理者権限でログオンしてください。

手順.1
本製品に添付のUSBケーブルをつなぎます。

手順.2
添付のACアダプターを本製品と電源コンセントにつなぎます。

手順.3
本製品の電源を入れます。

手順.4
パソコンのUSBポートにつなぎます。
本製品はOSに標準で搭載されているドライバを使用するため、ドライバをインストールする必要はありません。



電源スイッチの説明

ON	パソコンの電源に連動せず、常に電源が入った状態になります。
AUTO	パソコンの電源に連動して本製品の電源がON/OFFされます。（電源連動機能）
OFF	パソコンの電源に連動せず、常に電源が切れた状態になります。

ご注意 本製品をUSB 2.0で動作させるには、USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

電源連動機能とは？

パソコンの電源のON/OFFに連動して、ドライブの電源がON/OFFされる機能です。ただし、添付のケーブルを使用し、ドライブの電源が［AUTO］の状態の時のみ有効です。
この機能により、パソコンの電源を切ると同時に、ドライブの電源も切れます。
また、次回パソコンの電源を入れると同時に、ドライブの電源も入るので手間が省けます。





ご注意 電源連動機能により、本製品の電源スイッチをAUTOにした時点では本製品のPowerランプは点灯しません。起動済みのパソコンに接続するとPowerランプが点灯します。電源連動機能を切るには、電源スイッチをONまたはOFFにします。

縦置きする場合

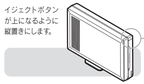
手順.1
添付の縦置きスタンドの裏に、添付のゴム足を4枚貼り付けます。



手順.2
イジェクトボタンが下になるように、縦置きスタンドを本体に取り付けます。

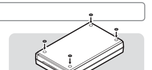


手順.3
イジェクトボタンが上になるように縦置きにします。



横置きする場合

ドライブの底に添付のゴム足を4枚貼り付けます。



注意
- ●本製品にメディアを入れたまま移動したり傾けたりしないでください。本製品やメディアを破損します。
- ●縦置き時、8cmメディアは使用できません。

3.確認しよう

正常に使用できるかを確認します

Windowsを起動して［マイコンピュータ］（または［コンピュータ］）を開き、本製品のドライブアイコンが追加されていることを確認します。アイコンが追加されていれば、本製品をご使用いただけます。

↑（画面例：Windows XP、メディア未挿入、Fドライブと認識している場合）

ご注意
- ●ドライブ文字（番号）は環境によって異なります。
- ●ドライブ名称はOSや挿入されているメディアによって異なります。（例：Windows XPで空のDVD-RメディアをF挿入するとCD-ROMと表示されます。）

こんなときには

アイコンが追加されていない場合

- ●［表示］メニューの［最新の情報に更新］をクリックしてみてください。
- ●ケーブルの接続が正しく行われていることをご確認ください。（パソコンの電源を切り、再度ケーブルを抜き差ししてください。）また、別のUSBポートに挿し直してみてください。
- ●添付のCD-ROMに収録されているQ&Aの「Q01 本製品をパソコンに接続しても認識しない/本製品のアイコンがマイコンピュータ（またはコンピュータ）に表示されない」をご参照ください。

「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない場合

［キャンセル］ボタンをクリックし、ケーブルをパソコンから取り外します。パソコンを再起動して、取り外したケーブルをパソコンにつなぎます。

その他ご注意

- ●ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクターを持って抜いてください。
- ●一部のウイルス対策ソフトがインストールされている場合には、動作が不安定になる場合があります。
- ●本製品は、パソコンの省電力機能には対応しておりません。
- ●本製品を長時間使用した場合は、一旦メディアを取り出し数分おいてから書き込みを行ってください。

4.その他

取り外し手順について

本製品をパソコン起動中に取り外す場合の手順を説明します。（画面例：Windows XP）

手順.1
タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。
表示されるアイコンはOSによって異なります。



手順.2
本製品の表示をクリックします。
複数のUSB機器を接続している場合は、ドライブ文字（番号）で判断してください。
（画面例：Eドライブの場合）



手順.3
メッセージを確認します。
（Windows XP以外の場合は［OK］をクリックします。）



手順.4
パソコンのUSBポートから、本製品のUSBケーブルを取り外し、本製品の電源を切ります。
AUTOの場合、自動的に電源が切れます。（ただし、Windows Vista™ではパソコンからUSBケーブルを抜くまで、電源は切れません。）

こんなときには

Windows Vista™でユーザーアカウント制御の画面が表示された場合

［続行］ボタンをクリックしてください。



「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合

使用しているソフトウェアをすべて終了してから、本手順をおこなってください。
※それでも同じメッセージが表示された場合、パソコンの電源を切ってから本製品を取り外してください。

裏面へお進みください。

てっトリ早く DVDを使ってみよう

用途に応じて添付ソフトウェアを選択してください。

DVDビデオを作りたい
DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA

DVDを再生したい
Windows Vistaの場合 InterVideo WinDVD
Windows XP/2000の場合 InterVideo WinDVD 5

データDVDを作りたい
GOLD9 BASIC

ドラッグ&ドロップでデータを書き込みたい
B's CLiP

DVDオーサリングソフト	DVD再生ソフト	データライティングソフト	パケットライトソフト
既存の映像ファイルやDV カメラの映像を使って、DVDビデオを作成する際に使用します。	市販のDVD や作成したDVDビデオ、または録画用DVDレコーダで録画された、DVD-R/RW、DVD-RAMを再生することができます。	通常のデータCD/DVD 作成に加えて、磁気ディスクやMOなどのデータを作成することもできます。	インストールすると、DVD-RAM/DVD±RW/CD-RWメディアにDVDドラッグ&ドロップでデータを書き込むことができます。
Ulead ソフトウェアCDに収録	DVD Proツールズコレクションに収録	DVD Proツールズコレクションに収録	DVD Proツールズコレクションに収録

※1 他のデータライティングソフトやパケットライトソフトがインストールされている場合には、本ソフトをインストールする前にそれらのソフトをアンインストールしてください。
※2 DirectX 9.0がインストールされていない環境では、B's Recorder GOLD9 BASICのインストール時に、DirectX 9.0が自動的にインストールされます。

添付の「DVD Pro ツールズコレクション」CD-ROMにはその他に以下のソフトウェアも収録されています。

EasyBaser LE for I-O DATA	データバックアップソフト：あらかじめ設定しておくだけで自動的にデータのバックアップを取ることができます。（※ソフトは常駐型のため機種環境を選択できません。） ※Windows Vista™非対応
DriveTrust for I-O DATA	ドライブコントロールユーティリティ：パソコンやスタンダクン時にメディアの取り出し忘れを防ぐユーティリティソフトです。（※ソフトは常駐型のためDrive内機種環境を選択できません。）
QuickSecure for I-O DATA	簡単セキュリティソフト：ドラッグ&ドロップの簡単操作でファイルを暗号化/復号化することができ、セキュリティソフトです。
Snapfire Plus SE Powered by Corel	デジカメデータ編集ソフト：デジタルカメラで撮った写真を簡単に編集できるソフトです。（※ソフトは機種環境を選択できません。） 明るさの調整や、グリーティングカード、カレンダーの作成といった作業が手軽に行えます。
画面で見るマニュアル	本製品の「基本操作」や「DVDビデオの作り方」、「困ったときには」などについて説明しています。

用途に応じて必要なソフトウェアをインストールしてください。

※Windowsを管理者(Administrator)権限でログオンしてください。

1 添付のCD-ROMを本製品に挿入します。

DVD Proツールズコレクション」の場合は1へ

2 メニューが表示されたら[インストールをする]をクリックします。

3 インストールしたいソフトをクリックします。

4 表示に従ってインストールを進めます。

5 インストールが完了します。（再起動が必要な場合があります。）

※ Windows Vistaでユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

「UleadソフトウェアCD」の場合は4へ

シリアル番号/CD-Key
- B's Recorder GOLD9 BASIC：
- B's CLiP7：
- WinDVD：
- WinDVD 5 for OEM：

こんな時には…
インストールするソフトウェアによっては、シリアル番号入力画面が表示される場合があります。その場合、シリアル番号は自動的に入力されますので、そのまま次の画面に進んでください。

注意 B's Recorder GOLD + B's CLiPを使用する際のご注意

- 複数ご登録を無効（オフ）にしない、無効（オフ）にしないで書き込みを行うと、書き込みに失敗する場合があります。
- マルチセッション：マルチボーダー（セッション単位でデータを追記することです。）で記録したメディアの使用済み容量を知りたい場合は、B's Recorder GOLD9 のメディアアイメニューの「情報を更新してください」クスプローラの「ファイル(F)」メニューの「プロパティ」を選択するか、または「使用領域」では、OS の仕様により書き込みセッションの数しか表示されません。
- 2重DVD-Rメディアにマルチセッションで書き込みを行った場合、他のドライブで2層目のセッションの読み取りはできません。
- 2重DVD±Rメディアに「B's CLiP」で書き込みを行った場合、他のドライブで読み込むことはできません。
- 一度でも書き込みに失敗したDVD-R/CD-Rメディアは使用していないでください。正常に動作しない場合があります。書き込みに失敗したDVD-RW/+RW/CD-RWメディアに「B's Recorder GOLD」を使用してもムダ容量を消去した後にご利用ください。
- 「いったん全て Recorder GOLD」の書込先で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's Recorder GOLD」の本製品を使用してください。また、いったん「B's CLiP」の本製品で書き込みを行ったメディアに追記する場合は、必ず「B's CLiP」の本製品を使用してください。
- 一度「B's CLiP」でフォーマットしたDVD+RW/+R DL/+RAM/CD-RWメディアを再フォーマットする場合は、「B's Recorder GOLD」や「B's Easy」ついったん標準消去してから、「B's CLiP」でフォーマットしてください。
- 「B's Recorder GOLD」にてコピー禁止情報付きDVD を作成する場合には、本紙表面（推奨メディア）欄にてご案内しておりますメーカー製のCPRM 対応 DVD-R/RW/+R/+RW VIDEO メディアをご利用ください。
- ハードディスクについたんデータを書き込んだから、メディアへの書き込みを行う場合、書き込むファイルと同じサイズの空き容量がハードディスクに必要です。
- B's Recorder GOLD のカスタム設定画面にて、[環境設定]→[ドライブ設定]→[高度なドライブ設定]で、「転送速度エラー回避機能」をONにしてください。また、ドライブ設定画面の[書き込み]タブにて、[高度なドライブ設定]のボタンを表示されます。
- 当CD/DVD ドライブを読み込みスライブとして使用する場合の注意：
  - CD/DVD ドライブが対応していない CD/DVD ドライブ*の場合は、読み込みをしたドライブごと一元として利用いただくことができません。その場合は本製品を読み込みスライブとして利用ください。※B's レコーダーシリーズ、DVD 2倍書き込み速いものドライブ
- 音楽データを書き込んだ CD-R/RW メディアを再生するには、再生する CD プレーヤーが CD-R/RW メディアに対応している必要があります。
- Windows 2000 では次の機能には、以下のオリジナル CD 再生を無効にしてください。
- DVD±R/RW メディアに書き込む際、書き込み終了後に"書きトレイが出ない"、"書き込み終了の音が鳴らない"などの症状が発生する場合があります。その場合は次の各種設定をお試しください。
  - ・CD-R/RW ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
  - ・ライティングソフト
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- CD-R/RW ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD-R/RW ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD-RAM ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD+R DL ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD-R DL ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効

注意 DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA、WinDVD、WinDVD 5 OEMを使用する際のご注意

- 本製品のリージョンコードは、出荷時設定で「2」に設定されています。リージョンコードを変更した場合は、動作の保証を致しかねます。
- CPRM技術で録画されたDVDメディアを再生するには、再生するドライブ・サービスパックやCPRM Packをダウンロード、インストールする必要があります。（※インターネット接続環境が必要です。）
- 録画データを書き込んだCD-R/RW メディアを再生するには、再生するCD プレーヤーがCD-R/RW メディアに対応している必要があります。
- Windows 2000 では次の機能には、以下のオリジナル CD 再生を無効にしてください。
- DVD±R/RW メディアに書き込む際、書き込み終了後に"書きトレイが出ない"、"書き込み終了の音が鳴らない"などの症状が発生する場合があります。その場合は次の各種設定をお試しください。
  - ・CD-R/RW ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD-RAM ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD+R DL ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD-R DL ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD+RW ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD-RW ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD-RAM ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD+R DL ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効
- DVD-R DL ドライブ（ライティングソフト）
  - ・PIO-Express 使用
  - ・COPY専用ケーブルについて
  - ・最新のドライバ（ライティングソフト）
  - ・HDDに対応したDMA（UDMA）モードを有効

てっトリ早く DVDビデオを再生しよう

1 WinDVD(Windows Vista™の場合)またはWinDVD 5 OEM(Windows Vista™以外の場合)を起動します。

[InterVideo WinDVD]アイコンを ダブルクリック

2 再生するDVDビデオを挿入します。

挿入すれば、自動的にDVDビデオの再生がスタートするよ。

CPRM技術で録画されたDVDを初めて再生する場合は…
CPRM Packをダウンロードする必要があります。
ダウンロードおよびインストール手順については、本製品の画面で見るマニュアル内[DVDビデオを作る]をご覧ください。(例:DVD ProツールズコレクションのCD メニューより画面で見るマニュアルを選択(左をクリック)、再DVDドライブの製品名をクリックし起動します。)

こんな時には…
■Windows XPでをのようなウインドウが表示される
→キャンセルをクリックします。

困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかった…
ユーザーサポートセンター
045-226-3899
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
※一部祝日は休日となりユーザーサポートセンターでの対応は受付を除く

てっトリ早く データDVDをつくってみよう

1 B's Recorder GOLD9 BASICを起動します。

[B's Recorder GOLD9]アイコンを ダブルクリック

2 表示されるメニューから[データCD/DVD]を選択します。

クリック

3 上段で保存したいデータを選択して下段にドラッグ&ドロップします。

ドラッグ&ドロップ

てっトリ早く
デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップすることもできます。

4 メディアをホ製品に挿入して[開始]をクリックします。

クリック

こんな時には…
■DVD+R/-R/-RWメディアを挿入した5下記のようなメッセージが出た…

●DVD-RWの場合

●全データを追加して書き込む場合
[追記可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。
●書き込み全データを追加する予定がない場合
[互換性を重視し追記不可能な状態で書き込む]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

5 書き込みを開始します

❶[書き込みのみ]を選択
❷[開始]をクリック

困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかった…
ユーザーサポートセンター
06-4861-8234
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
※一部祝日は休日となりユーザーサポートセンターでの対応は受付を除く

完成！

てっトリ早く DVD-RAMに書き込もう

※ 2～5の手順は初めてDVD-RAMメディアを使う際のみ必要です。
※DVD±RW、CD-RWメディアも同様の手順でデータを書き込むことができます。

1 DVD-RAMメディアを本製品に挿入します。

2 マイコンピュータを開き、本製品のアイコンをクリック→[B's CLiPフォーマット]をクリックします。

❶アイコンを右クリック
❷[B's CLiPフォーマット]を選択

3 本製品を選択し、[次へ]をクリックします。

❶本製品を選択
❷[次へ]をクリック

4 [次へ]をクリックします。

クリック

5 必要に応じて[ボリュームラベル]、[UDFバージョン]を設定し、[完了]をクリックします。

クリック

6 [OK]をクリックします。
⇒フォーマットが始まります。

クリック

7 フォーマットが完了すると以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。これでDVD-RAMへドラッグ&ドロップするだけでデータを書き込むことができます。

クリック

てっトリ早く DVDビデオをつくろう

1 動画ファイルを準備します。

●TVキャプチャ
●VHSビデオテープ
●DVカメラ etc.

※動画ファイルの作成方法やDVカメラとの接続方法は お使いのPC本体・DVカメラの取扱説明書をご参照ください。

2 [DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]を起動します。

[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]アイコンを ダブルクリック

3 [ビデオディスク]→[新規プロジェクト]の順にクリックします。

❶ビデオディスクを クリック
❷新プロジェクト クリック

4 [DVD]を選択し、[OK]をクリックします。

❶[DVD]を選択
❷[OK]を クリック

5 [メディアの追加]枠の中から[ビデオファイルの追加]をクリックします。

クリック

6 ビデオに書き込みたいファイルを選択します。

❶ファイルを選択
❷開くを クリック
❸サムネイルが追加されていれば 確認

7 この場面では必要に応じてメニュー画面の設定を変更することができます。

8 本製品にメディアを入れます。

完成！

メニュー画面の編集もかんたん!

あらかじめ用意されているテンプレートやオリジナルのデザインを選ぶだけでお好みのメニュー画面を作成できます。

BGMやレイアウトなど、メニュー画面の編集をおこなうことができます。

メニューからムービーへの画面切換等を設定することができます。

クリックでメニュー画面のタイトルを変更できます。

クリックでシーンのタイトルを変更できます。

クリックでプレビュー画面で表示され、動作チェックすることができます。

●詳しい使い方は[DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]のヘルプをご参照ください。

困った時には…
添付CD-ROMのメニューより[Q&A]をご参照ください

それでもわからなかった…
ユーザーサポートセンター
045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
※一部祝日は休日となりビデオ・データ・ビデオ技術支援注意喚起

てっトリ早く
デスクトップ上やエクスプローラから直接ドラッグ&ドロップしてサムネイルにお気に入りを追加することもできます。

ドラッグ&ドロップ

困ったときには

DVD MovieWriter 5 for I-O DATA で困ったら…

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
[スタート]メニューの[Ulead DVD MovieWriter 5 SE for I-O DATA]に登録されます。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.ulead.co.jp/support/
それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

インターピデオジャパン株式会社
ユーリードユーザーサポート係
TEL 045-226-1966
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
月一金曜日(祝日および当社指定休業日を除く)
※お問い合わせの際はユーザー登録が必要です。
※ソフトウェアのインストール時の表示名、各ソフトウェアを起動し[バージョン情報]等からソフトウェアのシリアルナンバーをお調べください。
http://www.ulead.co.jp/
●E-Mail：上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

B's Recorder GOLD9 や B's CLiP で困ったら…

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
[スタート]メニューの[B.H.A]または各ソフトウェアのヘルプに登録されます。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://help.bha.co.jp/
それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

株式会社ビー・エイチ・エー
テクニカルサポートセンター
TEL 06-4861-8234
受付時間：10:00～12:00/13:00～17:00
月一金曜日(祝日などのビー・エイチ・エーあるユーザー登録が必要です。
http://www.bha.co.jp/
●E-Mail：上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

DVDドライブ本体 や EasyBaser LE for I-O DATA で困ったら…

1 DVDドライブ本体またはソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
●DVDドライブ本体のマニュアル
「DVD Proツールズコレクション」CD-ROMを入れ、[画面で見るマニュアルを読む]ボタンをクリックします。
※自動でメニューが表示されない場合は、CD-ROMの[Menu]([Menuuxe])をクリックしてください。
●各ソフトウェアの画面で見るマニュアル
[スタート]メニューの[I-O DATA]に登録されます。
※アクレーフとに画面で見るマニュアル for QuickSecure for DVDCDフォルダ登録されます。

2 ホームページでサポート情報を見る。
●製品Q&A、Newsなど
http://www.iodata.jp/support/
●最新サポートソフト
http://www.iodata.jp/lib/
それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター
TEL(東京) 03-3254-1095
TEL(金沢) 076-260-3688
FAX(東京) 03-3254-9055
FAX(金沢) 076-260-3360
[受付時間] 09:00～17:00 月一金曜日(祝日を除く)
※ご質問、ぐだ、ご個人情報と、製品の故障などにアフターサービス及び個人情報保護方法のアフターよりお問合せいただきます。また、ご了承ください。
※お問合せの際に必要な範囲外で被害を受ける場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同、ご利用、ご提供。

InterVideo WinDVD や InterVideo WinDVD 5 で困ったら…

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
[WinDVD]または[WinDVD 5 OEM]を起動し、ヘルプを起動します。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.intervideo.co.jp/support/
それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

インターピデオジャパン株式会社
テクニカルサポート
TEL 045-226-3899
FAX 045-226-3895
受付時間：10:00～12:00/13:30～17:30
月一金曜日(祝日・年末年始を除く)
http://www.intervideo.co.jp/support/
●E-Mail：techsupp@intervideo.co.jp

Snapfire Plus SE で困ったら…

1 ソフトウェアの画面で見るマニュアルを確認する。
[Snapfire Plus SE]を起動し、ヘルプを起動します。

2 ホームページでサポート情報を見る。
http://www.corel.com/servlet/Satellite/jp/jp/Content/1158796555474
それでも解決しなかったら

3 サポートに問い合わせる。

インターピデオジャパン株式会社
コーレル ユーザーサポート係
TEL 0570-003-002
受付時間：10:00～17:00
月一金曜日(祝日・年末年始を除く)
http://www.corel.jp/support
※本ソフトウェアは機種制限等につきQ3日間のみのサポートとなります。
※サポートセンターにお問い合わせの際はアプリケーションのバージョンをご確認ください。
1.0のバージョンだけ入力製品だてお支えをお伝えください。お伝えいただけない場合、サポートを受けられない場合がございます。

修理について

修理を依頼する前に

以下の事項をご確認ください。

●お客様が始められたシステムなどについて
修理の際に、製品ご自分で設定されますので、その際、表面に貼られているシールなどは決してはがさないでください。

●修理金額について
[修理金額]は修理内容に基づいて修理いたしますが、ハードウェア保証書に記載されている[保証規定]に該当する場合は、無料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
[保証期間]が終了しても修理は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた場合は、修理ができなくなる場合があります。
[基本料]とは、修理を行なう際に、技術者が点検して修理を行なう場合、有料となります。
[基本料]は、修理内容によって異なります。
[修理金額]は、修理内容を確認後、ご連絡させていただきます。
[修理金額]のご連絡をせずに修理を行なうことはありません。
[修理金額]のご連絡をご希望されない場合は、その旨をお知らせください